

特別展

Special Exhibition June 5 (sat) - July 11 (sun) 2021
The Art of the Japanese Sword : Tracing Connections in Kyoto/Nara and Kyushu

名刀紀行

京・大和と九州

THE TOKUGAWA ART MUSEUM
徳川美術館

企画展

Thematic Exhibition June 5 (sat) - July 11 (sun) 2021
"Red Gold"/"Black Gold" : The Beauty and Utility of Copper and Iron

あかがね

くろがね



竹に鶴図四分一銅
銘 程乗作 光孝(花押)



雪輪・四方剣透鉄彈
号 残雪 名物

HOSA LIBRARY
CITY OF NAGOYA
名古屋市
蓬左文庫

2021年 6月5日(土) ~ 7月11日(日)

開館時間:午前10時~午後5時 [入館は午後4時半まで] / 休館日:月曜日
観覧料:一般 1,400円・高大生 700円・小中生 500円※20名様以上の団体は一般 1,200円、高大生 600円、
小中生 400円 ※土曜日は高校生以下入館無料 / 主催:徳川美術館・名古屋市蓬左文庫
協力:名古屋市交通局 / 問合せ先:徳川美術館 TEL 052-935-6262 FAX 052-935-6261
名古屋市蓬左文庫 TEL 052-935-2173 FAX 052-935-2174 〒461-0023 名古屋市東区徳川町

展示室の混雑状況によっては、入場を制限する場合があります。

名刀紀行

京・大和と九州

- 第1章 京(山城国)の刀工
- 第2章 大和国の刀工
- 第3章 畿内の刀工
- 第4章 九州の刀工

古くから日本各地で刀剣が生産されてきましたが、なかでも山城国(京都府)と大和国(奈良県)は都が置かれたことから、貴族や寺院の需要に応じた作刀が盛んに行われました。また大和国の刀工たちの作風は、九州の刀工たちに少なからぬ影響を及ぼしました。山城国・大和国を中心とした畿内の刀工の作品や九州の刀工の作品を紹介します。



太刀 銘左 名物 大左文字
南北朝時代 14世紀

短刀 朱銘 左安吉
南北朝時代 14世紀

短刀 朱銘 タヘマ光室
鎌倉時代 14世紀

国宝 太刀 銘来孫太郎作(花押)正応五年壬辰八月十三日
鎌倉時代 正応5年(1292)

企画展
Thematic Exhibition June 5 (Sat) - July 11 (Sat) 2021
"Red Gold"/"Black Gold": The Beauty and Utility of Copper and Iron

あかがね／くろがね

あかがね くろがね
本展の主人公は地味な「銅」と「鉄」です。

金属の中でも、派手で豪華な金・銀ではなく、銅と鉄に着目して徳川美術館の所蔵品を眺めてみると、実用性と装飾美を兼ね備えた金属工芸品の創意工夫が見えてきます。本展ではこだわりが詰まった刀装具などの武具類をはじめ、尾張徳川家に伝えられてきた金属工芸品の数々を通して、銅と鉄の魅力に迫っていきます。



龍文象嵌南蛮兜
桃山～江戸時代 16-17世紀



天明真形釜
江戸時代 17世紀
岡谷家寄贈



唐花文七宝菓子鉢
中国・明時代 16-17世紀



黄銅瓢形花生 金谷五郎三郎作 江戸時代 19世紀

■ イベント

【学芸員の「あかがね／くろがね」見どころガイド】
2021年6月20日(日)午後1時～1時30分(開場:12時30分) 会場:講堂
定員:60名【先着】※入館者聴講自由(入館料別途要)

■ 徳川園催事

雨を聴く 徳川園の和傘と七夕
5月29日(土)～7月7日(水)



■ その他のイベントについて

詳細については、当館ホームページ
またはQRコードを読み込んで
ご覧ください。

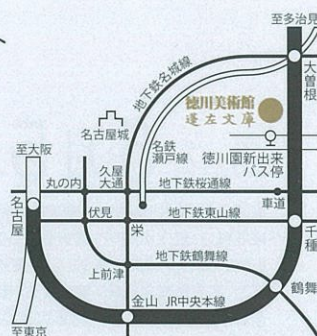


■ 次回予告

夏季特別展 家康から義直へ
7月17日(土)～9月12日(日)



熊毛植黒糸威具足 徳川家康着用



- 基幹バス
「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
- JR中央本線
「大曾根」駅下車 南口より徒歩10分

新型コロナウイルス感染症対策

- ・マスク着用でご来館ください。
- ・入口にて検温を実施しております。
- ・展示室内での会話はお控えください。
- ・今後の状況によっては、展覧会・イベントが変更・中止となる場合がございます。